

広島修道大学（以下「本学」という。）は、建学の精神に基づき、「地球的視野を持って、地域社会の発展に貢献できる人材の養成」を理念に掲げている。また「広島修道大学における研究者の行動規範」に基づき、研究者は研究と教育に関する学術活動によって産み出された知的成果を蓄積し、それを社会に還元することで、技術、経験を活かして、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、そして地球環境の持続性に貢献するという責任を有する。

以上に基づき、本学における学術データの管理、公開及び利活用に関するポリシーを以下の通り定める。

なお、本ポリシーは、本学における学術データの管理、公開及び利活用に関する方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

#### （学術データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする学術データとは、本学における研究・教育活動の過程で研究者によって収集又は生成されたデータのうち、学術研究を目的として利用されうるものを指し、デジタルか否かを問わない。

#### （原則）

2. 本学は、原則として、学術データを収集又は生成した研究者がその学術データの管理を行う権利と責務を有していることを認める。

#### （学術データの管理）

3. 研究者は、学術データの価値を守るため、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的要件及び倫理指針等に従って学術データを管理しなければならない。

#### （学術データの公開）

4. 本学及び研究者は、各研究分野の特質を踏まえ、その法的要件及び倫理指針等に従って、可能な限り社会に学術データを公開し、その利活用を促進する。

#### （大学の役割）

5. 本学は、学術データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備する。

#### （その他）

6. 本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。